



へにまる

No.648

発行責任者

加藤邦彦

教育は模倣なり

校長 加藤邦彦

私事で恐縮ですが、6月に初孫が誕生しました。先日会いに行って、驚いたことがあります。まだ言葉を言えませんが、機嫌がいいと声を出します。その「アーウー」の声をよく聞くと大人が彼女を「〇〇ちゃん」と呼んだ時の、そのイントネーションになっていました。名前の音の高低を、きちんと聞き分けているのです。「学ぶ」という言葉の語源は「まねぶ」、つまり「真似をする」です。教育の基本は、真似であるということを再認識しました。

5年生宿泊学習～9月4日から6日～



「輝きを未来に！」・自ら学ぶ子・最後までやりぬく子・思いやりのある子・体をきたえる子

10月

○生活目標

「力を合わせて仕事をしよう」

☆学習目標

「家庭学習にしっかり取り組もう」

□保健目標

「目を大切にしよう」

◇給食指導

「姿勢を正しくしよう」

「健康と食事について考えよう」

留小っ子 あれこれ

実りの秋になりました

実りの秋を迎えて、学校の「るすつつ子農園」でも、様々な野菜が収穫されました。

今年度は天気に悩まされる部分もありましたが、日常的なお世話を通して、“恵みの秋”を実感できました。

また、1・2年生は、留寿都高校のお兄さん、お姉さんと枝豆を収穫しました。選び方や取り方など、いろいろな事を教えてもらしながら、ビニール袋いっぱいの枝豆に大満足でした。



チャレンジタイム終了

今年度のチャレンジタイムが終了しました。

約3ヶ月間、自分の目標に向かってグラウンドマラソンに取り組んできた子どもたち。最終日の9月14日(金)は、絶好の天気にも恵まれ、一人一人、気持ちのいい走りで締めくくりました。

※後期の体力作りは、縄跳びを中心に行い、2月の縄跳び集会での頑張りを発表します。



募金活動を行いました

今回の北海道胆振東部地震に関わり、児童会三役を中心に9月18日から21日までの4日間で、募金活動に取り組みました。

全部で15,575円の募金が集まりましたので、26日(水)に、役場住民福祉課に届けました。ご協力ありがとうございました。



後期児童会三役が決まりました

9月19日(水)に行われた後期児童会役員選挙で、【会長】6年 吉川 侑吾
右の5名が当選しました。

全校のリーダーとしての自覚を大切にしながら、しっかりと頑張ってほしいと思います。

【副会長】6年 赤松 紗々
5年 小松平穂乃
5年 加茂 莉夏
4年 成田 由樹

世界一大きな絵2020!! 完成

2020年の東京オリンピックに向け、『世界一大きな絵2020』に全校で取り組みました。

夏休み中に描いてもらった下絵をもとにしながら共通部分を抜き出した原案を作成し、留寿都村ならではの縦5m横5mの大きな絵を完成させました。

* この後は、道内の全作品を一つにつなぎ合わせ、道内のいずれかの場所で『世界一大きな絵2020北海道』が開催されます。(予定)

さらに、2020年には、全国全ての絵をつなぎ合わせ、『世界一大きな絵2020』が作成され、発表されます。(予定)

